

「前例がないなら自分で作る」

私は1月17日に立志式を迎えました。山鹿市内の全中学校の2年生が八千代座に集まり、大村詠一さんの講話を聞きました。大村さんは、エアロビックの現日本代表で、I型糖尿病の患者です。

健康とはどういうことなのか、また反抗期、夢についてのお話がありました。その中で私の心に一番残っているのは、糖尿病と分かった時、医師に前例がないという理由で「エアロビックはおすすめしない」と言われた大村さんが、「前例がないなら、僕が前例になればいいんだ」と決意したということです。

前例は、いつでも、誰にでもつくりことができるものだと思います。そして、大村さんは、その前例をつくられました。とてもすごいことだと思います。「誰もしていないなら、私もしない」ではなくて、「誰もしていないなら、私がする」という気持ちを持ちたいです。

今年は3年生になります。学校をまとめるリーダーになります。これまでなかったことに自分が挑戦して、新しい伝統をつくっていきたいです。